



チューリップだより

No. 9

すすんで学ぶ巣本っ子
も 萌える活動育成協
と ともに歩む公民館

五泉市立巣本小学校

H30. 1. 17

「勇気をもって挑戦する」

校長 石田 雄介

冬休み気分も抜け、子どもたちは元気に学校生活を送っています。風邪が流行る時季になりますが、子どもたちの体調に十分気をつけて3学期を進めて参ります。

さて、年も改まって新鮮な気持ちの子どもたちに、私は次のように話しました。

3学期は一年の締めくくりです。「一人一人が力を高め、学校の中心となって活躍する学期」にしてほしいです。そのための合言葉は、「ちゅうしん」です。次の3つのことを大切にしてください。

1. 「ち・挑戦するめあてを立てること」

- ・挑戦には2つの方法があります。
自分の苦手なことへの挑戦と、自分の得意なことを伸ばす挑戦です。
- ・新しい自分を目指して、気持ちも新たに、自分のめあてを立てましょう。

2. 「ゆう・勇気をもってやってみること」

- ・挑戦には勇気が必要です。できるできないではなく、やるかやらないかです。
勇気を出し、やってみるのです。失敗を恐れる必要はありません。

3. 「しん・進級・進学に向けた準備をすること」

- ・自分は何をがんばれたか、どんな成長ができたか。自分に足りないものは何か。
- ・自信をもって新しい学年になるための準備を進めてください。

あっという間の短い3学期ですが、挑戦する子どもたちを励まして参ります。

< 2月の主な予定 >

1/26 日(金)5,6年スキー体験学習(三川温泉スキー場) 12日(月)振替休日

1日(木)全校朝会

家庭学習パワーアップ週間開始

5日(金)メディアコントロールチャレンジ開始

8日(木)5,6年スキー体験学習予備日

9日(金)後期クラブ(3年クラブ見学、最終)

11日(日)建国記念の日

巣本地区芸能祭(4,5年参加)

13日(火)子ども貯金日 スマイル旬間開始

14日(水)交流給食・交流遊び

15日(木)学習参観(5限)・説明会・学級懇談会

23日(金)委員会(新メンバー)

27日(火)6年生に感謝する会(5限)

28日(水)6年合唱指導

★2月15日(木) 学習参観・新学習指導要領実施に向けた学校運営に係る説明会

- 学習内容や校時表など、学校運営が変わります。その主な内容を説明いたします。
今から予定に入れて頂き、ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

アンケートでみる2学期末の学校評価

(1) 児童アンケートより

※前回比：◎＝5%以上向上、△5%以上低下（全校児童数93名）

I. 学習にかかわる内容		肯定的な回答
1	自分の考えを分かりやすく話すことができる。	83.9%◎
2	友達と協力し合って学習や活動をすることができる。	95.7%
3	話し合いを通じ、自分の考えを深めたり広げたりすることができている。	86.0%△
4	国語の学習が好きである。	79.3%◎
5	国語の学習がよく分かる。	94.6%
6	算数の学習が好きである。	73.1%△
7	算数の学習がよく分かる。	91.4%
8	読書が好きである。	92.5%
9	友達や先生の話をよく聞いている。	95.7%
10	学年×10分の家庭学習をしている。	95.7%◎
11	自分でめあてや計画を立てて家庭学習をしている。	89.2%◎
①	チャレンジテスト到達目標達成割合と設問3 肯定的評価割合の平均値	77.4%

※①はアンケートではなく、学校集計データです。

【学習面について】

前回同様、国語や算数の学習がよく分かるという回答した児童の割合がたいへん高いことから、授業の分かりやすさや基礎的な知識の習得状況はほぼ良好であると考えます。また、設問1のように「自分の考えをわかりやすく話す」が5%以上向上していることから、かかわり合う授業を通して自己表現する素地は育ってきているものにとらえます。

一方、設問6で、「算数の学習が好きか」を問うと数値が低くなります。このことから、「言われたことは分かるし、きちんと取り組める。が、自分から関心をもって学習に取り組み、友達と考えを交流する楽しさはまだ十分味わえてはいない」という実態が見えてきます。自分の考えと友達の考えを交流させ、より深い学びや理解へ向かう力は、まだ十分身につけているとは言えません。国語と異なり、1つの解答を求めていく算数という学習の特性も関係するものと考えています。

この結果を踏まえ、学校はく子どもたちが学習課題を追求する面白さを味わえる授業づくり>に一層努力する必要があります。特に算数では、「答え」という結果だけでなく、聴き合い・学び合いという「考えていく過程」を教師が評価し、「ここまで考えをふかめている！」という自信を付けさせることで、少しでも多くの達成感を味わわせて参ります。

尚、家庭学習の目安である「学年×10分以上」は定着してきており、家庭学習の取組はおおむね満足できる状況になってきました。今後は、家庭学習の質をより高めていくことと、子どもが自分で計画的に進めていくことに力を入れていきます。やる子とやらない子の差を縮めるため、めあてが達成できない子どもたちについては引き続き個別指導を充実させ、ご家庭のご協力を仰いで、家庭学習習慣の定着を図ります。

II. 生活や体力にかかわる内容		肯定的な回答
12	学級やスマイル班などで、みんなで活動することが楽しい。	97.8%
13	いろいろな友達と仲良く過ごしている。	97.8%

14	進んで身体を動かして遊んだり運動したりしている。	96.7%
15	ありがとう、ごめんなさいと言える。	96.8%
16	当番や係の仕事に進んで取り組むことができる。	95.7%
17	難しいことでも、できるまでがんばろうとする。	90.3%

【生活・体力面について】

子どもたち同士が思いやりをもってかかわり、互いに高め合う教育活動を構成し、子ども一人一人の学校生活が充実するように取り組んで参りました。「学校が楽しい」「友達となかよく過ごしている」と答えている子が前回の約96%から約98%となり、手ごたえを感じております。これからも、子どもたちの声に耳を傾け、一人一人の悩みや困りをいち早く発見し、すぐに対応する体制を継続して参ります。

設問17は高い数値ですが、他に比較すると低めでした。学習でも生活でも自分にとって苦手なことや難しいことは誰もが抱えています。そのことに対して、あきらめず粘り強く取り組める子どもにしたいと考えます。学校では、取組の過程をこまめに見取って評価することでやる気を引き出し、子どもを褒めて育てて参ります。

運動・体力面では、ほとんどの子どもたちが進んで体を動かして遊んだり運動したりしていると答えています。3学期は冬季の運動不足解消と基礎的な運動能力の向上を図って縄跳びに力を入れています。今は休み時間にも練習に励む姿が見られます。スマイル班での長縄跳び練習も含めて調整力や持久力の向上に効果を上げていくものと考えますので、体育の時間と合わせて、自分のめあてを立てて体力づくりに励ませます。

Ⅲ. 自己有用感や将来の職業観にかかわる内容		肯定的な回答
18	自分には良いところや得意なものがあると思う。	89.2%
19	自分のやりたいことを自分の考えで選ぶことができる。	90.2%
20	自分の役割を果たすことで、みんなの生活や社会の役に立つと思う。	92.5%
21	世の中にはたくさんの種類の仕事があることが分かる。	91.4%
22	将来なりたい職業ややってみたいことがある。	82.8%
23	地域が好きで、校区や地区の良いところが分かる。	90.3%

【自己有用感、職業観について】

自分の良さが分かる子どもは、自信をもって人とかかわり、自分で判断や行動ができるようになります。設問18では前回の約85%から約89%へと子どもの肯定的評価がやや向上しました。自分の良さに自信を持つ子どもが増えていることに喜びを感じます。

また、地域学習が充実した2学期は、設問23のように、「校区や地区の良さが分かる」という子どもが90%以上と高い数値を維持しています。巣本という地域が大好きで、自慢ができる子どもを、今後も保護者・地域の皆様のご協力を頂いて育てて参ります。

さらに、スマイル班活動を引き続き学校生活の様々な場面で活用し、子ども同士で教え合い助け合う場面を増やしていきます。子どもは教えるのが上手です。大人や教師ではできない子ども同士が互いに支え合う力を大いに活用し、子どもならではのアイデアを生かした交流活動をこれからも取り入れて参ります。

児童アンケートは児童自身による評価です。教師や保護者の評価とズレがある面もありますが、私たちは子どもたちの思いや願い、自分なりの努力を大切にするため、実施しています。

(2) 保護者アンケートより

※前回比：◎=5%以上向上、△=5%以上下降（回収数 93、回収率 100%）

I. お子さんの学校生活について		肯定的な回答
1	お子さんは、楽しんで学校に行っている。	95.7%
2	お子さんは、友達と仲良く過ごしている。	96.8%
3	お子さんは、地域の人にあいさつをしている。	86.0%◎
4	お子さんは、進んで体を動かして、遊んだり運動したりしている。	81.7%△
5	お子さんは、国語の学習が好きである。	68.8%
6	お子さんは、国語の学習内容をよく理解している。	73.1%◎
7	お子さんは、算数の学習が好きである。	73.1%△
8	お子さんは、算数の学習内容をよく理解している。	73.1%
9	お子さんは、進んで自分の考えを話している。	74.2%
10	お子さんは、人の話に耳を傾けよく聞いている。	77.4%
11	お子さんは、学年×10分の家庭学習に取り組んでいる。	78.5%
12	お子さんは、メディア使用2時間以内になるよう気をつけて生活している。	40.9%
13	ご家庭で、学校からの各種便りに目を通すようにしている。	100.0%
II. 学校の対応について		
14	学校は、お子さんの状況について、家庭と連携をとっている。	100.0%◎
15	学校は、各種便りや懇談会等で、教育方針や活動内容を伝え、家庭や地域と連携して教育を進めようとしている。	100.0%◎

2学期末の学校評価アンケートにご協力いただき、大変ありがとうございました。ご多用のところ、お子さんの様子をご覧いただきながら評価くださり、感謝申し上げます。

前回同様、「楽しく学校に行っている」「友達と仲良く過ごしている」の評価がより高かったことが、学校として一番うれしいことです。また、「家庭や地域との連携」については、ほぼ十分な対応をしていると評価いただき、たいへんありがたく思っております。

前回の課題であった「あいさつ」については、取組の成果が上がり、家庭や地域でのあいさつが向上して参りました。育成協の方々からのご協力、小中連携あいさつ運動の継続、子どもあいさつ隊の編成等を生かし、進んであいさつできる子を育てて参ります。

今回のアンケート結果からみると、次の3点が課題となります。

- (1) 子どもが「好き」という学習を模索し展開すること。
- (2) メディアとの付き合い方について改善を図ること。
- (3) 体を進んで動かす子を育てること。

学習面については前述のとおりです。子どもたちが興味関心を高め、進んで学んでいくような授業づくりを今後も追求して参ります。

メディアへの接し方については、最も厳しい評価結果が出ました。学校では、幼少期にメディアコントロール意識を高めることが重要と考え、1～3年生を対象に講師を招いてのメディア授業を実施します。「節度を持ち、自分でメディアを使用する時間や場面を調節できる子どもに育てる」ため、これからもご家庭でのご協力を仰ぎたいと思います。

<ご家庭での約束>を再度ご確認ください、子どもが自分の意志で上手にメディアと付き合い合っているように、同一歩調で取り組んで参りましょう。

アンケートへのご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

